

テーマ

同一システムの各施設での運用について

衣川診療所の現状

平成28年5月28日

奥州市国民健康保険 衣川診療所

診療放射線技師 瀬川正一

更新前のシステム(～H28年1月まで)

1) CR

REGIUS MODEL 190 (コニカミノルタ)

2) PACS

NEOVISTA I-PACS EX (コニカミノルタ)

※電子カルテ(約2年前に更新) 富士通 → 富士通
HOPE/EGMAIN-RX (富士通)

システム更新の理由

- 1) PACSが購入後8年経過し、耐用年数が過ぎた。
- 2) サーバーのデータ容量が満杯になった。
500GB(実用量380GB)
- 3) 電子カルテの更新に伴い一部連動が出来なくなった。
カルテへの画像貼り付け。
カルテを閉じても画像は表示されたまま。

当初は PACS のみの更新を検討していた

システム更新の理由 その2

へき地整備費補助金の活用

奥州市合併10年が過ぎ、間もなく
へき地整備費補助金が使えなくなる？

へき地整備費補助金(半額補助)が使えるため、
耐用年数が過ぎたCRも更新しよう。

今回導入されたシステム(H28年1月)

1) DR(FPD) (コニカミノルタ)

AeroDR 1717HQ

AeroDR 1417HQ

画像診断ワークステーション CS-7

// CS-7 Portable

2) PACS (コニカミノルタ)

NEOVISTA I-PACS EX2

機種選定の理由

- 1) 見積もり段階で一番安い。
- 2) 過去の画像データを全て移行出来た。
- 3) 操作が今までと同じ。

※他社のPACSの価格でコニカはFPDも買える

「データ移行費・接続費用が高額」



同じメーカーは「ただ」……？

今回導入されたシステム① FPD

AeroDR 1717HQ
立位リーダーに装着



AeroDR 1417HQ
主に無線にして使用



グリット 60本/cm→40本/cm
グリット 3:1 (ホルダー型)

今回導入されたシステム② FPD

画像診断ワークステーション
CS-7



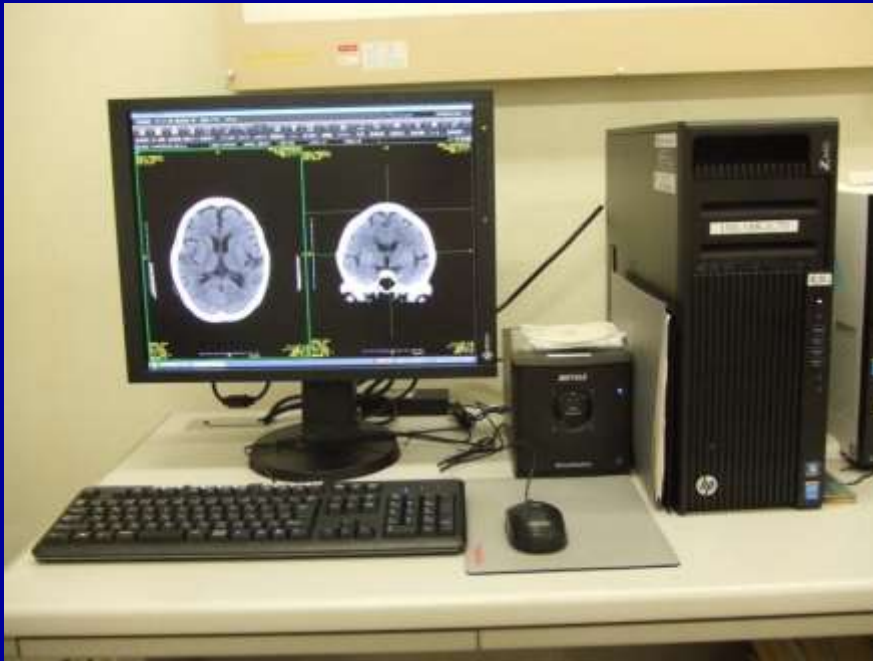
制御BOX



今回導入されたシステム③PACS

PACSサーバー
NEOVISTA I-PACS EX2

PACSクライアント



衣川診療所での運用・現状

AeroDR 1717HQ

☆立位リーダーに入れっぱなしで撮影。

☆撮影直後に画像が確認できる。

☆撮影後にトリミングができる。

☆被ばく線量の減少

胸部 120kv 100mA 0.028sec 200cm

↓

116kv 80mA 0.025sec 200cm



「FPDで仕事が楽になった」

AeroDR 1417HQ

胸部立位以外を撮影
無線で使用

一般撮影の約9割が胸部撮影だが、特別養護老人ホームが併設されているため、車いすでの撮影が比較的多い。



ホルダー型のグリットで「補強と汚れ対策」

PACS(サーバー)

I-PACS EX から I-PACS EX2 に更新

操作性・機能はほぼ同じ。

記憶容量 500MB → 2TB (過去画像を全て移行)

NASにデータバックアップ

Windows7

クライアント同時表示最大5台まで

接続モダリティー

DR・CR・CT・骨密度

US・ES(上部・下部)



PACS(クライアント)

電子カルテの端末パソコンを使い表示する (Web表示)

- 1.放射線科(2Mモニター)
- 2.診察室1(//)
- 3.診察室2(//)
- 4.病棟 (//)

- 5.検査室(ノートパソコン)
- 6.診察室3(ノートパソコン)



電子カルテとの連動

- ☆1クリックで画像が開き、カルテを閉じると画像も閉じる
- ☆ドラッグ & ドロップでカルテに画像を張り付ける

連携BOX・・・コニカミノルタの画像転送機能 (PACSから直接送信できる)

- ・盛岡の放射線科医に読影依頼



遠隔画像診断支援サービス

コニカミノルタ医療ITサービス「infomity」を使い、
遠隔読影事業者と契約できる。

※現在は使っていない

ご清聴ありがとうございました。

あとは質疑でお答えいたします。